

進捗状況を  
お伝えします

# 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校 開校準備委員会通信

Vol.3

令和7年5月

本通信は、3か月に1回の開催を予定している開校準備委員会本部会の開催後に、開校準備委員会の各ワーキンググループの意見交換を含めながら、本部会の意見交換の状況についてまとめて発行したものです。

## 1 開校準備委員会本部会（第3回）の会議概要

- 日時 令和7年4月23日（水）17:30～19:45
- 場所 さいたま市立沼影小学校 プレハブ1F多目的室
- 次第 教育長挨拶  
1. 本部会・ワーキンググループの令和7年度以降の活動見通しについて  
2. 各ワーキンググループからの活動報告について  
(1) 校名・移行イベントより（校名公募について）  
(2) 通学区域より（通学区域等について）  
3. 「未来の姿」についてのアンケート調査結果について

### 【今後の本部会の予定】

第4回	第5回	第6回
7月下旬	10月	1月



○本年度より、武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の開校に向けた準備を担当する「武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備室」が立ち上がりました。新たな体制で改めて、学校、家庭、地域と行政で協力していく意識を共有しました。

### 【各ワーキンググループについての活動報告】

#### （1）校名・移行イベントワーキンググループより

○昨年度までに、4回にわたり校名アイデアの募集について参加者で意見交換を行い、選定基準やチラシのデザイン等を策定してきたことを報告しました。

○5月1日から6月8日まで募集が行われ、その集計結果をもとに7月、8月のワーキンググループで検討の後、10月の第5回本部会にて候補を絞り込むための意見交換を行う予定であることを報告し、御賛同いただきました。

○募集を実施することの周知について、市の広報誌（南区版）5月号に掲載し、全戸配布するとともに、関係6校への周知や、幼児保育施設にチラシの掲示を行うことについて報告しました。  
※関係6校：内谷中学校、浦和別所小学校、西浦和小学校、辻小学校、沼影小学校、浦和大里小学校

#### （2）通学区域ワーキンググループより

○これまでに2回にわたり意見交換を行っており、今後は、今回の本部会での御意見もふまえ、さらに2回のワーキンググループで意見交換を行い、10月の第5回本部会で最終案を報告する予定であることを報告しました。

○第2回ワーキンググループでは、第1回ワーキンググループで参加者からいただいた御意見をふまえ、本義務教育学校を選択できる特定地域に設定する開始学年や、内谷校舎から浦和大里校舎へ通う校舎を変更する地区について意見交換を行っていることを報告しました。

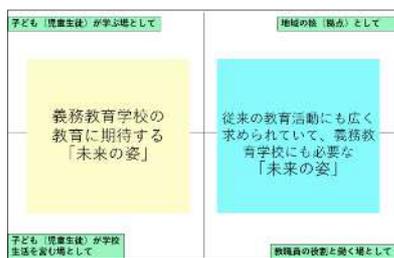
○本部会の参加者からは、ワーキンググループで意見が上がらなかったエリアについても検討して欲しいという御意見があり、今後も検討していくという方針を御理解いただきました。

## 2 「未来の姿」についての意見交換の概要

○「未来の姿」案について、今後のワーキンググループの意見交換の拠り所としていくために、今回と7月開催予定の第4回本部会において意見交換を行うことについて説明し、御賛同いただきました。

○自身が考える本義務教育学校の「未来の姿」とその回答に込めた思いや願いが、子どもと大人を合わせて、4,151名の方々から寄せられました。それらのアンケート結果を基に作成した「未来の姿」の素案について、参加者での意見交換を行いました。

○意見交換は、少人数でテーブルに分かれてのワークショップ形式で行いました。アンケート結果や、素案についての感想を共有した後、右図のように二つの視点で色分けしたふせんを、四つのジャンルに分類しながら意見交換を行いました。



○参加者からは、4年生が最上級生になるといった立場の変化の中で子どもたちが成長していくことが期待されることや、規模が大きいくことを利点として日常的な異学年交流を促進していけること、様々な年齢や地域の多様性を生かした価値観の共有が見込まれることなどの意見交換がありました。

○また、様々な人がいる地域の中で、学校と関わろうとする人の参画を促しているように、理想の姿の話だけではなく、具体的に地域との関わりや、大規模な学校を作る強みと弱みを考える必要がある、といった意見交換がありました。



### 【学識経験者からのコメント（概要）】

○今回の「未来の姿」の意見交換で、学校に普遍的に求められる姿と、本義務教育学校ならではの姿が意見として出てきたことで、元々あった良さや新しくやりたいことの両方が満たされる作り方になるのが良いと思います。その間を繋ぐものについても考えが及びました。

○今回の意見交換で「子どもが学ぶ場」、「子どもが学校生活を営むうえで安全・安心な場」、そして「地域の拠点」として「教職員が働きがいのある学校」を作っていく、という意見を見たときに、東日本大震災後に早期に学校の再開を決断した自治体で、子どもたちが学校に通う姿が戻ってくることで日常が取り戻されていったという話を思い出しました。地域としてどういう学校をどのように求めていくのかを話し合うのが本部会の役割だと感じさせられました。

○この開校準備委員会の規模は稀にみる大きなもので、ワーキンググループの人と対話して出てきた意見を、本部会で全体を俯瞰した議論をし、その議論があったことを伝えるという往復をしていくことで、新しいアイデアが出るなど、良い学校にできることが期待できます。

発行・問合せ 開校準備委員会事務局（教育委員会事務局管理部武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備室）

電話 048-829-1627 FAX 048-829-1989

Email musashi-junbi@city.saitama.lg.jp

武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校についてのホームページ <https://www.city.saitama.lg.jp/003/002/001/p082303.html>

本通信の内容は令和7年4月時点の情報になります。検討状況は変更となる場合があります。

